



K-I-F-A Plaza

第26号

1996年3月12日発行

〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

編集・広報部

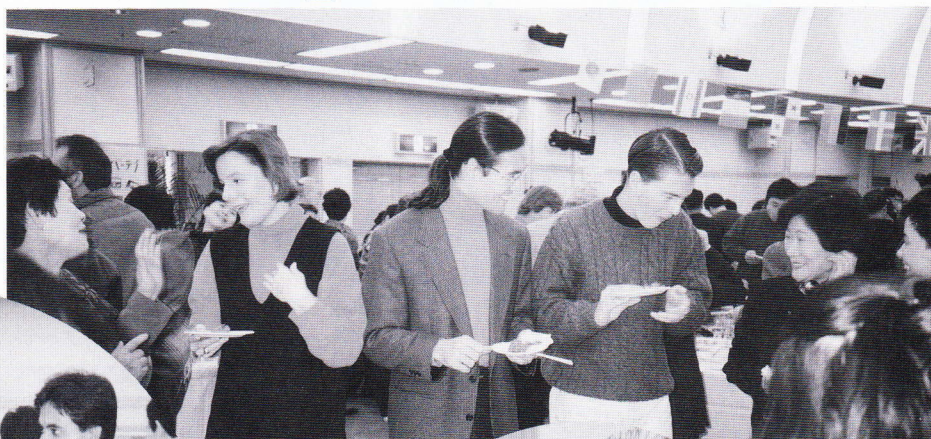
※ Former Mayor of Whakatane Visits Kamagaya (Pg 2)

※ Panel discussion concerning Asian mutual understanding (Pg 3)

※ KIFA Winter Party (pg 4 ~ 5) ※ My Hometown: Helmstedt, Germany (pg 6)

※ Reader's Column (pg 7) ※ Miscellaneous Information (pg 8)

KIFA Party



手をつなごう 私達の地球のために…

We are all part of a very big chain and each link is important to the harmony of the planet. We must not break that chain and keep living in a respectful manner for all that is given to us, to the air that we breathe, the water we drink, the earth that gives us our food and life, to the animals and to nature.

(S. K. Ariyapala)

私達は宇宙の調和を守るための大切な鎖の一つ一つの輪である。その鎖を壊すことなく、お互いに尊重し合いながら、生きていかなければならない。私達に与えられている総てのもの、すなわち、呼吸するための空気、飲むための水、私達に食べ物と命を与えてくれる土、そして動物達と大自然のために……

(S. K. アリヤパラ, スリランカ)

Former Mayor of Whakatane visits Kamagaya

N.Z.ワカタネ市元市長 鎌ヶ谷市訪問



ロレイン・ブリルさんを紹介する荒井会長
(KIFAパーティーにて)

昨年11月、ワカタネ市元市長ロレイン・ブリルさんが鎌ヶ谷市を訪れました。11月26日のKIFAパーティーには、到着早々成田空港から駆けつけて下さいました。パーティー会場では市内在住の小学生とも気軽に交流を楽しんでいました。

会議出席の為、数日間東京に滞在後、当市でホームステイを体験。市内の中学校やクリーンセンター、梨園などを視察しました。

行き先々で通訳のスティヴ・バーク氏を通していろいろな質問をするブリルさんでした。「とても聡明な女性」という印象を残して12月2日、帰国されました。

Greetings from Sister Cities New Zealand.
On my 'first ever' day in Japan, I learned that Kamagaya is a truly international city, when I visited the KIFA International Day. Throughout my visit, you were all very friendly and I was made to feel a welcome visitor. Each day was like a week as I visited the modern developments in your city and the future proposals which will help you grow even further. To the students I met - 'Hockey Pockey' will never taste the same again.
Lorraine M. Brill - President 04.02.96

ニュージーランド姉妹都市協会からこんにちわ

日本に着いた最初の日にKIFAパーティーに招待され、鎌ヶ谷市はとても国際的な都市だと感じました。

私が訪問している間、みなさんから友好的で、温かなおもてなしをしていただきました。

色々な進んだ公共施設を訪問し、一日が一週間のように感じられた毎日でした。鎌ヶ谷市の将来の計画を知り

ましたが、鎌ヶ谷市はこれからも発展していくことでしょう。

私は、生徒たちに会って、「ホキーポキー」を食べましたが、その味は決してわすれないでしょう。

ロレイン・ブリル 1996. 2. 4

*「ホキー・ポキー」という名前の意味は不明ですが、第五中学校へ視察した際に、理科の授業でカルメル焼きを作る実験をしていてそれを食べたことを言っています。



会長宅で夫人から
プレゼントの説明を受ける



梨園の視察

「近隣諸国から見た日本」

11月12日(日)午後中央公民館で、第3回市民国際理解講座「隣国から見た日本」は、「日本は異質な国なのか」をテーマに、鎌ヶ谷に住む3人のパネラーに討論をしていただきました。



◀ 中村さん



◀ 三橋さん



◀ 石川さん

パネラー紹介

中村欽哉さんは、昭和43年、韓国で初めて発見された王族の墓の学術調査に同行して以来、韓国に関する研究を長年続けている方です。すでに、韓国文化紹介著書1点、小説など翻訳3点、定年前に小学館を辞められマスコミ関連の仕事で執筆を続けておられます。

三橋敏次さんは、若い時から旅を愛し、全国至る所を旅行し、趣味のスキューバダイビングで台湾に行った時、ついに何回でも来たいと思う所を発見しました。何度も田舎町に滞在し、自然と人とのふれあいを楽しめました。そこで陳さんと知り合い結婚しました。現在、翻訳会社を経営し、台湾の経営者との交流も多い方です。

石川有三さんは、大学院生の時、中国の地震予知を学ぶため1年間ホテルに滞在していたことがあります。その後、国際地震学会や日本と中国の地震学者の仲介役として度々中国を訪問しています。また、韓国にも地震研究のため滞在しています。

以下は、おもしろかった点だけを紹介します。

1 東アジア文化の同質性

3ヶ国とも東アジア文化圏に属し、そこは、漢字・仏教・儒教が文化の根底にある地域である。

漢字の古い発音は、日本の音読みとして残っています。全く中国語を知らないで、台湾に行っても店の看板の漢字からだいたい推測できます。初めて行く旅行者は、文化のつながりを感じるでしょう。

仏教は、大乘仏教であり、儒教の影響が大きい。特に韓国は、儒教の影響が強く、年配者の前でタバコを吸うことはできない。吸う時は、半身になって口を隠して吸わなければならない。

同じ文化圏に含まれる中国人・台湾人・日本人の発想は、基本的な点では同じといえます。

2 日本の異質性

(1) 鳩より劣る日本人

韓国人と日本人の食べ方は、全く逆です。韓国人は、箸とスプーンを使います。箸は物をつかむためだけに使い、通常は、スプーンで食べます。スプーンでご飯に汁を入れてぐるぐるとかき回す。ちょうど猫まんまのように食べる。日本人なら、行儀が悪いと思う。

反対に、日本人はお碗を手に持って食べる。韓国人は通常はお碗を置いてスプーンで食べるから、日本人の食べ方を行儀悪いと思う。

韓国人は、同じ姓では、結婚できません。日本人は、いどこ同士で結婚というのも珍しくありません。そこで韓国人は、「鳩という動物でさえ、いどこ同士では結婚しない。日本人は、鳩より劣る。」と悪口を言う。

(2) 正当性を問題にする韓国人

韓国人は、「日韓併合条約は、手続きとして正当なものでなかった」と主張しています。日本人は、植民地獲得競争時代の古い過去のことで今更詮索しても無意味で

あると感じています。韓国人は、はっきりしない日本人に怒っています。

(3) 最も大切なのは義兄弟

共産主義の中国では、国からどんな命令がこようと「俺とお前の強い関係が優先」されます。それは、三国志や水滸伝の世界が続いているようです。

(4) マスコミの歪み

三橋さんは、アキノ議員暗殺の現場に、石川さんは、天安門事件の現場に、中村さんは、今度のノテウ元大統領の捜査開始など韓国の現場にいました。

各国とも報道規制が厳しく、また日本のマスコミは、CNNなどのアメリカ系の報道が中心で偏っています。

自分が正しいと思う基準は、知らず知らずの内に周囲から作られてしまうのです。



現代(変化した後の)

台湾：男女同権、経済発展、日本と変わらない。

中国：優秀な若者がビジネスの世界に入るようになった。

韓国：家族(自分から5代遡った父系祖先から下の系図にある者全て)は、3代ぐらいまでになりつつある。

など、20名の参加で質問も多数あり、日本を深く知るために、隣の国から見るには、有益な時間でした。

第4回は、2月4日(日)「ラテンの世界」をテーマに、開催されました。(研修部会 添野 良一)



Japanese drums played with great dynamism
迫力ある和太鼓



1995年11月26日（日）12：00～15：00

総合福祉保健センター6階にて

第8回 K I F A パーティーが開催され、24カ国、85名の外国人参加者を含め、総勢2

色とりどりのコーナーでは、それぞれのまご馳走にかこまれ、和太鼓の歓迎あり、笑福ど、雰囲気の大いに盛り上げてくれました。

最後に、全員で合唱をしながら、それぞれのを披露して幕となりました。

この会を企画して下さいました方々に「スバラ



All ages gather together
お母さんは交流中

KIFA's 1995 "International winter Par Welfare building on November 26, mark took part and several booths represer " taiko " welcomed the participants & events followed, such as dance " shod game " jan-ken-poi " Everydody enjoy of beverages and delicious foods. At again " was exchanged in different la A huge compliment to the organizer. S



International chattering
国際交流の輪が…



した。
0名余りが参加しました。
国の紹介をしていました。沢山の
踊り、大正琴や中国音楽の演奏な
国の言葉で、「また会いましょう。」
「サイ！」の賛辞を贈ります。

ty", held in the Kamagaya Health &
ed a full success. Over 280 people
ted their countries. Japanese drums
nd various traditional Japanese
uku odori ", music " taishogoto ",
ed the happy meeting with all kinds
the end a " Mata aimasho- See you
nguages.
UBARASHI I!



Everybody enjoys the various performances
盛り沢山のイベントを楽しむ



Ghana booth "You may try"
ガーナのお国自慢



Peruvian traditional music instrument
異国情緒で溢れる笛の音にウツトリ



Various explanations from Pakistan
僕の国を知って下さい

私の故郷ヘルムステット

アネット ゲーブラ うえまつ
Annette Gaebler-Ueatsu

私の故郷はドイツ中部の北にあるローワーサクソニーのヘルムステットです。ここはちょうど以前の東独との国境に接していたところで、西側から東独へ入る最も大きな検問所として、東欧へのゲートと呼ばれていた人口28,500人の町です。

ヘルムステットは、千年以上の歴史のある町で、二百年以上の間、ドイツで三番目に大きな大学の町でした。ここの大学はナポレオン・ボナパルテの兄弟のジェロームの命令で1810年に閉鎖されました。今日、マキシマム講堂はコンサートやレセプションのために使用され、その二階は大学当時からの蔵書が3千冊保存されています。

ヘルムステットを訪問する人々は、16-17世紀からの家が600以上もあり感銘を受けます。これらの多くは



世界中の有名な教員や大学教授の家でした。中にはイタリア出身のジオルダーノ・ブルーノ、あるいは1609年に新聞を最初に発行した出版社のジャコブ・ルシアスがいきました。

約150年の間、ヘルムステットには、耳や目の慢性疾患、麻痺、偏頭痛、リュウマチによく効くと言われていた温泉がありました。

ヘルムステットでは、多くのひとがウルフベルグのフォルクスワーゲンで働いていますが、他にも多くの工業があります。例えば褐炭鉱山、室内装飾家具（これは私の母方の曾おじいさんが設立した）あるいは、ドイツで唯一の石鹼の機械製造業者と石鹼工場などです。私の父方の祖父は石鹼工場のオーナーで、1955年に仕事で東京に来たことがあります。その当時彼の孫が日本に住むようになると誰が想像したでしょう。

(訳 広報部会)



My home town is Helmstedt in Lower Saxony in the northern part of middle Germany, formerly exactly located at the border to East Germany. Having been the biggest check point to enter the former German Democratic Republic (GDR) from the west, it was nick-named "Gate to Eastern Europe." It has 28,500 inhabitants.

Helmstedt is more than one thousand years old. For more than two hundred years, it was home of the third biggest university in Germany. Emperor Napoleon Bonaparte's brother Jerome ordered the university to be closed in 1810. Nowadays the Auditorium Maximum is used for concerts and receptions. The first floor (Japanese 2F) is home to more than thirty thousand books from university days.

Visitors of Helmstedt are impressed by the many old houses (more than six hundred!) dating back to the 16th and 17th centuries. Many of them were home to famous teachers and professors from all over the world, among them Giordano Bruno from Italy, or the book printer Jacob Lucius the Elder who printed the first newspaper ever in 1609.

For about one hundred and fifty years, Helmstedt was a well recommended "Bad" (=Onsen) for ear and eye ailments, paralysis, migraine, arthritis.

Many people from Helmstedt choose to work at Volkswagen company (VW) in Wolfsburg, but there are quite a few industries in Helmstedt, too e.g. the brown coal mines, upholstered furniture, (founded by my maternal great-grandfather), or Germany's only producer of soap machines and complete soap factories. My paternal grandfather happened to be the owner of the latter, and one of his many business trips led him to Tokyo in 1955. Who might have guessed then that his granddaughter would once settle down in Japan?

Annette Gaebler-Uematsu

KIFA Plaza Readers Column

7

KIFA is a very Special Place

S. K. Ariyapala
Sri Lanka

キファプラザ 投稿欄

I am from Sri Lanka and my name is S.K.Ariyapala. I have been living in the city of Kamagaya for the past five years, and it has been a very wonderful experience for me as all the people here are extremely kind and helpful. About one and a half year ago I went to the Kaigarayama park and at that time I received a booklet and a newsletter. It is then that I found out about Japanese lessons. Soon after I began looking for the class but I had a hard time locating it. However I thought "Dekinaikoto ga arimasen" and I continued on looking. Eventually I went to the library and asked about these classes. The woman there did not know, but was very kind with me and directed me to Mrs. Fujimoto. She gladly took me to the class and I met many people from many different countries. I was very happy.

We not only took lessons in Japanese but we also went to the National Museum in Sakura. It was a very nice trip and I felt like I was with my family. All the people I was with had infinite harmony, "mugen naru chowa". Now they have become very good friends. Since then I have talked about the classes to many of my friends from Sri Lanka. When we have problems, KIFA is a very special place where we can find comfort and guidance and help. My new Japanese friends would get mad at me if I was not giving them a call: "dame dayo" iuteta.

Last March, Mr. and Mrs. Negishi who have become very good friends of mine, went to Sri Lanka. They had a very good experience with my people and my country. Japan and Sri Lanka have a fifty years old friendship and this is very strong today also.

Today I can write and read a little bit of Japanese, Hiragana and Katakana, and I will continue to study Japanese, encourage my friends and help them, and they are also happy. Only one thing I cannot do: A Japanese lady asked me to marry her. I am married and have two beautiful twin sons. Zannen deshita ne!

私は、スリランカから来たS. K. アリヤパラと申します。私が鎌ヶ谷に住むようになって、5年になります。ここの人々がとても親切なので、素晴らしい経験をさせて頂いています。約1年半前のことですが、私は貝殻山公園で、パンフレットと新聞を渡されました。そのお陰で、私は日本語講座のことを知ったのです。すぐに日本語のクラスに入りたいと思ったのですが、どこで受けられるかわからずいました。しかし、「できないことはありません」と思いながら探し続け、とうとう私は図書館に出かけてたずねてみることにしました。その女の人はクラスのことを知りませんでしたが、親切にもミセス、フジモトを紹介してくれたのです。彼女は喜んで私をクラスに連れていってくれ、そこで私は色々な国から来ている沢山の人達と会い、とてもうれしかったです。

私達は授業を受けるだけではなく、佐倉の国立博物館にも出かけました。それはとても楽しく、私を家族と一緒にいるような気持ちにさせてくれました。みんなとて

も気が合って、今では親しい友達です。その後、私は多くのスリランカの友人達にこの日本語クラスの事を教えてあげています。私達が困っている時、KIFAは私達が頼っていける所、手を差し延べてくれる所です。

もし私が困った時、電話しないと「ダメデショ」と言ってくれる日本人の友人も得ました。

昨年3月に、私の親しい友人である根岸夫妻は、スリランカを訪問しました。彼らは、私の国でそこの人々と共に素晴らしい経験をしました。日本とスリランカは、50年の友好関係があり、今日に至っています。

私は今、ひらがなとカタカナが書けるようになりました。友達を励ましたり、力づけたりしながら、これからも勉強を続けるつもりでいます。一つだけ私のできない事があります。ある日本人女性が、私に結婚を申し込みました。でも私は結婚していて、素晴らしい双子の息子を持っているのです。ザンネンデシタネ...!!

(訳 広報部会)



Notice from the editors. Your cooperation is welcomed !

How about sharing your experiences in international relationship with KIFA PLAZA readers ? Please contribute your story to K.P.R column. All kinds of information, comments, opinions, suggestions are welcomed.

The article should be made up of about 200 to 300 words in English or about 750 letters in Japanese including a title. We would appreciate your sending 2 or 3 pictures along with your article. We will return to you later. Don't forget to mention your name, address and age and send the whole documents to the following address:

Kamagaya International Friendship Association

Address: 928-744 Hatsutomi, Kamagaya-shi (Kamagaya City Hall, 3rd. floor) Phone: 45-1141 Ext. 550

投稿規定：25文字×30行以内。題名、住所、年令（学年）を明記の上、鎌ヶ谷市国際交流協会事務局（市役所3階企画課）まで。記載されたものには、粗品をお送り致します。



ホストファミリーになってステキな体験をしませんか



Five teachers from Whakatane with their host families.

昨年9月にワカタネ市より来日した5人の先生方は、市内で有意義な2週間を過ごして29日に帰国されました。(詳細はKIFAプラザ25号でお伝えした通りです。)

最後の晩に行われたパーティーにはそれぞれのホストファミリーと共に参加。別れを惜しみつつ、再会を約束していました。

協会では随時ホストファミリー登録の受付を行っております。事務局にお問い合わせ下さい。

平成7年度派遣事業

親善をかさねてNZ、ワカタネへ
(平成8年3月19日～26日)

姉妹都市として仮調印を交わしたNZ・ワカタネ市がこの3月24日・25日に全NZ姉妹都市大会の開催地としてイベントを催します。前年度ワカタネを訪問しましたKIFAにイベントへの協力の呼びかけがあり、派遣事業として会場でお茶席を催します。今回は11名の派遣団員で交流を深めて参ります。

“NO” と言出しにくい日本人のために

日時：3月17日(日)午後1：00～3：00

場所：中央公民館

内容：神田外語大学教授 キブソン松井佳子先生をお迎えして
異文化間のコミュニケーションにおける問題について、
皆さんも一緒に考えてみませんか。どなたでも参加出来ます。
参加費は無料、定員50人(先着順)

主催：鎌ヶ谷市国際交流協会

問い合わせ：鎌ヶ谷市国際交流会 45-1141 内線550

第1回 KIFAスポーツフェスティバル

= Sports Festival =

1995. 10. 15

鎌ヶ谷中学校体育館において、第1回スポーツフェスティバルが、交流部会の担当で開催されました。参加者72名(外国人41名)は4つのグループに別れて、バスケットボールのシュートや、ドッチボールで技を競い合いました。最後には全員で1つの輪を作り、フォークダンス。すっかり打ち解け、大好評のうちに幕を閉じました。



第4回 市民国際理解講座

「地球の反対側、ラテンの国々からみた日本」と題して、2月4日、中央公民館で行われました。楽しかった内容は次回7月発行予定の27号でお伝え致します。

編集後記

Since last October I had the pleasure to join the group of KIFA kohobukai. Despite my poor Japanese knowledge, my incorporation was no problem. All the staff is very kind and helpful and in exchanging our know-how both side are benefiting.

Thank you for your kind admission.

Mireille AKIMOTO (coming from Luxembourg)

10月から広報のお手伝いをする事となりました。日本の知識もほとんどない私ですが、スタッフの皆さんの手助けと協力を得まして、よりよい“KIFA PLAZA”にしたいとおもいます。広報部に入れていただき有難うございます。ミレーユ 秋元(ルクセンブルグ出身)